

# 2014 年度 学位取得等を目的とした

## 各種長期海外留学等支援プログラムによる派遣奨学生 学内募集要項

- ①経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生
- ②経団連国際教育交流財団 産業リーダー人材育成奨学金奨学生
- ③吉田育英会 給与奨学生 日本人派遣留学プログラム
- ④竹中育英会 海外留学奨学生
- ⑤KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラム

海外の大学院等において学位取得や長期にわたる専門分野の研究実施を目的として行う長期留学に対して、各種民間財団等から学費などの資金面を奨学金として支援していただく奨学金プログラムがあります。

今回は、下記の5つのプログラムを募集します。応募者は、学内選考の上、合格した場合には、大学から奨学金支給団体へ推薦します。

ただし、これらの選考は、本学の推薦候補者を選考するものであり、奨学生としての最終決定は、奨学金支給団体における選考結果によります。(奨学金支給団体へ推薦・申請した結果、不採択となることもあります。)

- ① 経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生 (応募時に本学大学院に在籍する者※研究生は応募不可)……推薦上限なし
- ② 経団連国際教育交流財団 産業リーダー人材育成奨学金奨学生(応募時に本学大学最終学年, 大学院修士課程 1、2年に在籍する者※研究生は応募不可)……推薦上限なし
- ③ 吉田育英会 給与奨学生 日本人派遣留学プログラム (応募時に本学大学院に在籍する者/日本の大学院を修了後、本学に在籍し研究に従事している者)……2名
- ④ 竹中育英会 海外留学奨学生 (応募時に本学大学・大学院に在籍する者/卒業(修了)見込みの者)……2名
- ⑤ KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラム (応募時に本学大学院に在籍する者) ……3名

### 1. 募集分野や応募資格・奨学金の支給内容など

応募資格: 学内選考会(下記5を参照)に参加出来る者

その他、プログラムによって募集分野、応募資格、奨学金の支給金額・支給期間などが異なります。

詳細については、各プログラム募集要項、財団等 HP などを熟読すること。

### 2. 提出書類(学内応募時) \*書類不備の場合は受け付けないので、注意すること。

(1) 願書 ※

(2) 留学目的及び計画(英語) ※

(3) 語学力証明書(英語、及び留学先大学で使用する言語のスコアシート等の写し)

\*各財団が求める語学要件をクリアしていることがわかるもの。受験者氏名が確認できる場合のみ、Web 画面のコピーも受け付けるが、原本が届き次第、提出すること(選考には原本が必要となる)

(4) 大学学部以降現在の成績証明書

(学部生/学部:「学業成績書」※自動発行機で発行

大学院生/学部:「学業成績書」※教務課/学務課で発行、大学院:教務 web システム「成績閲覧」画面のコピー

卒業生/学部:「学業成績証明書」、大学院:「学業成績証明書」)

(5) 大学学部以降の卒業(修了)証明書(または見込証明書)

(6) 在学(職)証明書

(7) 留学希望先(受入研究者)とのやりとりが分かるもの(メールなど)

※(1)(2)の様式は国際室ホームページ <http://www.ipo.titech.ac.jp/exchange/scholarship/index.html> よりダウンロード可

※学内選考通過者は、上記以外に各財団指定の応募書類を準備する必要があります。

### 3. 提出期限

【KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラムに応募する場合】

**2013年7月2日(火) 17時必着**

【上記以外のプログラムに応募する場合】

**2013年8月23日(金) 17時必着**

※応募にあたっては、学科助言教員／指導教員による承認(願書への押印)が必要です。余裕をもって準備すること。

※ただし、KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラムに応募する場合で上記「2. 提出書類」の(3)語学力証明書が上記提出期限に間に合わない場合は、2013年8月2日(金) 17時必着までに提出すること。その場合、願書の「TOEFL 等のスコア(取得年月日)」欄に試験名・受験日・試験結果の入手時期を記載すること。該当欄に記載がない場合は受け付けられないので、注意すること。

### 4. 提出先及び問い合わせ先

国際部留学生交流課(大岡山キャンパス 緑が丘3号館5階)

派遣担当 村上・吉原

電話 03-5734-7645 (内 7645)

E-mail [hakenryugaku@jim.titech.ac.jp](mailto:hakenryugaku@jim.titech.ac.jp) ※メールによる問い合わせの際は、メールの件名を「各種長期奨学金 問い合わせ」とすること。

### 5. 学内選考について

【KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラムに応募する場合】

**2013年7月9日(火) 午後**

【上記以外のプログラムに応募する場合】

**2013年9月4日(水) 午前**

※応募者は、必ず参加する必要がありますので、予定を空けておくこと。

### 6. 備考

・同種の個人応募の奨学金へ応募することを妨げるものではありませんが、大学から推薦した奨学金に採択された場合にはそちらを優先することを前提とします。

・学内選考結果は、KDDI 財団 日本人留学生助成・援助プログラムに応募する場合は8月上旬に、それ以外のプログラムに応募する場合は9月上中旬に、メールにて応募者全員にお知らせします。

・学内選考通過者には、学内選考結果通知後速やかに、各プログラム応募書類の作成および準備をしていただきます。なお、本学から財団への推薦後、各財団における選考(書類選考、面接)が別途行われます。詳細は各財団の募集要項を参照してください。

・応募にあたっては、周囲(家族や指導教員)の理解・協力が不可欠です。応募前に十分に話し合い、無理のない留学計画を立ててください。

・学内選考を通過した場合は以下の3点にご留意ください。

①「誓約書(署名者:本人及び保証人等)」の提出をすること。

※誓約書は <http://www.ipotitech.ac.jp/exchange/procedure/index.html> に掲載されているもの。

②大学の指定する海外旅行保険(保険会社は原則として、東京海上。補償内容は、治療・救済費用が3,000万円以上、個人賠償責任が1億円以上とする。)に必ず加入すること。

③危機管理サービスに加入すること、その費用について海外渡航者に一部負担してもらうこと。